

部活動の地域連携・地域移行にかかるスポーツ推進委員の役割

■ スポーツ推進委員とは

- スポーツ推進委員は、地域のスポーツ活動を推進するために市区町村の教育委員会(または首長部局)から委嘱される非常勤の特別公務員です。東京都では令和6年度、島しょ部も含めた 59 の市区町村で 1,490 名のスポーツ推進委員が委嘱されています。
- 主な役割は、スポーツイベントの企画・運営、住民へのスポーツ実技の指導や助言、スポーツ推進に関する事業の連絡調整などです。地域のスポーツを活性化させるため、障がいの有無を問わず幼児から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした活動を行っています。



■ スポーツ推進委員の役割(想定例)

部活動の地域連携・地域移行にかかるスポーツ推進委員の役割は、地域特性や委嘱者である市区町村の考えになどによって異なりますが、概ね次のように想定されます。

① 地域クラブとの連携強化

- ・ 地域のスポーツクラブや文化団体等と密に連携し、部活動の移行をスムーズに進めるための調整役を担うこと。
- ・ 地域クラブの活動内容や指導者の情報等を学校に提供し、適切なマッチングを行うこと。



② 活動の企画・運営支援

- ・ 地域クラブ活動の企画・運営をサポートし、質の高いプログラムを提供するための助言を行うこと。
- ・ イベントや大会の運営にも関与し、地域全体のスポーツ活動を活性化させること。

③ 地域住民との橋渡し

- ・ 地域住民や保護者とのコミュニケーションを図り、部活動の地域移行に対する理解と協力を得るための活動を行うこと。
- ・ 地域のニーズや意見を収集し、活動に反映させる役割も担うこと。

④ 部活動の指導者になること

- ・ 経験を活かし、自らがスポーツの指導者として活動していくこと。

